

6月5日 金曜日

2015年(平成27年)

夕刊

室蘭民報

MUROMIN

ハロー「室蘭土産は海星グッズ」

ボイジャー乗船客に販売

味わった。

2年生14人がグッズの考案や仕入れ、販売までを自分たちで行い、利益確保を目指した。3チームに分かれ、オリジナルデザインのTシャツやポストカード、

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、236人)の生徒が、5月29日に室蘭港崎守ふ頭に入港した豪華客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の乗船客に室蘭の土産物として製作した「海星グッズ」を販売した。英語で積極的にコミュニケーションを図りながら売り込み、苦労や喜びを



「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の外国人乗船客に「海星グッズ」を販売する生徒たち

マフラータオル、コースター14人も、乗船客に「室蘭の土産物の4種類を製作。1年生1人産物にどんなものがほしい

かななどのアンケート調査を行い、先輩のアドバイスを受けて売り子もした。

乗船客のほとんどが中国人。英語が通じない人も多く、生徒たちはジェスチャーや簡単な英単語を交えながら、意思疎通を図った。2年生の岩村菜花さんと佐藤玲惟さんは「積極的に話し掛け、何とか伝えようと頑張った」と振り返る。「ハロー」「ハーイ」と声を掛けると、明るく返事を返してくれてうれしかったです」と笑顔を浮かべる。

次回は9月12日に同ふ頭に入港する「マリナー・オブ・ザ・シーズ」の乗船客にグッズを販売する。2人は「今回の経験を生かし、中国語の案内板を作ったり、言葉覚えてコミュニケーション力を高めたいです」と意欲を見せていた。

(成田真梨子)